

「第五次山口県地域福祉支援計画」の概要

第1章 策定に当たって

1 計画策定の趣旨

「市町地域福祉計画」に基づき地域福祉を推進する市町の取組支援に関する基本的な事項を定める「第五次地域福祉支援計画」を策定

2 計画の位置づけ

社会福祉法第108条の規定に基づく「都道府県地域福祉支援計画」

3 計画の期間

令和5年度～令和9年度（5年間）

第2章 地域福祉を取り巻く状況

1 地域社会の状況

○新型コロナウイルス感染症の影響による住民の交流意識の低下、接触機会の減少等

- ・地域のつながりの希薄化による、支え合い機能の低下
- ・「社会的な孤独・孤立」新たな福祉的課題の顕在化や、複雑化・複合化する課題への対応
- ・支援を必要とする人を適切に社会資源とつなぐことのできる人材の育成

2 地域福祉に係る人材・組織等の状況

- ・民生委員：3,774人（H29：3,765人）
- ・福祉ボランティア：1,132人、1,079団体（H29：1,343人、1,251団体）

3 第四次計画の推進状況

地域の助け合いサービスの取組や、生活圏域で包括的に相談を受け止める体制の整備が着実に進んでいる。

〈主な指標〉

- ・地域の助け合いサービスの取組がある市町：18市町←14市町
- ・生活圏域で包括的に相談を受け止める体制がある市町：10市町←3市町

4 国の動向

社会福祉法の改正（R2.6施行）

〈改正のポイント〉

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の包括的な支援体制を構築するため重層的支援体制整備事業を創設

第3章 計画の基本目標と施策体系

1 基本目標

年齢や性別、障害の有無等に関わりなく、地域の誰もが自分らしく活躍し、共に支え合いながら、安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現

2 施策体系

- ◆ 誰もが共に支え合う地域づくり
- ◆ 誰もが安心して利用できる福祉サービスの基盤づくり
- ◆ 地域福祉を支える多様な担い手づくり

第4章 施策推進の方策

I 誰もが共に支え合う地域づくり

1 地域住民相互による福祉活動の促進

自治会や民生委員等多様な主体の連携による福祉活動の充実や子ども食堂等地域における居場所づくりの促進、インクルーシブの考え方に基づく取組の推進

(1) 地域住民が主体的に生活課題を解決する環境づくり

拡(2) 地域コミュニティづくりの促進

拡(3) 福祉意識の醸成

2 見守り・支え合い体制の充実・強化

市町における生活関連事業者（郵便、新聞、電気等）と連携した見守りネットワークの充実や、災害派遣福祉チーム（DWAT）の組成等災害時の要配慮者への支援体制強化

(1) 身近な地域における重層的な見守り・支え合い体制の充実・強化

拡(2) 災害時における要配慮者への支援体制の強化

II 誰もが安心して利用できる福祉サービスの基盤づくり

1 誰一人取り残さない包括的な相談支援体制の整備

市町において、住民からの相談を包括的に受け止め、多様な機関が協働して支援を行う体制の整備や、県において、専門的機関の設置による相談支援体制の充実

拡(1) 相談者の属性や相談内容を問わない重層的な相談支援体制の整備

(2) 広域的な調整や専門的な相談支援体制の充実

2 権利擁護の推進

各分野における権利擁護の取組の充実

(1) 成年後見制度の利用促進

(2) 権利擁護の取組の充実

(3) 虐待防止体制の充実

拡(4) 差別解消の取組の推進

(5) 個人情報の保護

3 地域福祉サービスの充実

福祉サービスの充実、サービスの質の第三者評価や事業者の苦情処理体制の整備促進によるサービス提供体制の確保

4 ユニバーサルデザインの推進

障害者等専用駐車場制度の周知と理解の促進等、すべての人にやさしい社会環境の整備

III 地域福祉を支える多様な担い手づくり

拡1 地域において福祉活動を担う人材の育成・確保

一人ひとりの状況に応じて適切に社会資源をコーディネートできる人材育成を推進

2 福祉・介護サービスを担う人材の養成・確保

福祉・介護職のやりがいや魅力の発信、外国人介護人材など多様な人材の確保、研修による資質の向上

拡(1) 人材の確保・定着

(2) 資質の向上

3 多様な主体の活動促進

ボランティア人材の確保や活動の活性化、社会福祉法人の地域貢献活動の促進、企業の社会貢献活動の促進

(1) ボランティアやNPO等の活動の促進

(2) 社会福祉法人による地域貢献活動の促進

(3) 企業等による社会貢献活動の促進

第5章 計画の推進・点検

1 計画の推進体制

市町、関係団体、地域住民等と連携し、計画の着実な推進を図る。

2 計画の点検・評価

計画に掲げた施策の推進状況や指標の達成度について定期的に点検しながら分析・評価を行う。